

国際結核肺疾患連合の呼び掛けを強く支持いたします

2020（令和2）年4月13日

国民のみなさまへ

一般社団法人 日本禁煙学会 理事長 作田 学
日本禁煙推進医師歯科医師連盟 会長 齋藤麗子
タバコ問題首都圏協議会 代表 中久木 一乗
タバコ問題を考える会・千葉 代表世話人 紅谷 歩
歯科喫煙問題研究会 代表 北川 純
スモークフリーキッズ 代表 勝見行雄
タバコフリー愛媛 会長 加藤正隆
食品と暮らしの安全基金 代表 小若順一
NPO 法人 日本呼吸器障害者情報センター 理事長 遠山和子
嫌煙権確立をめざす法律家の会 代表 伊佐山芳郎
子どもをタバコから守る会・愛知 世話人代表 稲垣幸司
市民のためのがん治療の会 代表 曾田昭一郎
Tobacco-free ふくしま 代表 齊藤道也
一般社団法人 くまもと禁煙推進フォーラム 代表理事 橋本洋一郎
秋田・たばこ問題を考える会 代表 鈴木裕之
香川・タバコの害から健康を守る会 会長 森田純二
一般社団法人タバコ問題情報センター 代表理事 渡辺文学
嫌煙権確立をめざす人びとの会 代表世話人 中田みどり
NPO 法人 禁煙みやぎ 理事長 山本蒔子
東京/日本橋禁煙推進研究会 代表 村松弘康
NPO 法人山形県喫煙問題研究会 会長 大竹修一

呼吸器系疾患の専門家や医療関係者からなる国際的な組織である国際結核肺疾患連合（International Union Against Tuberculosis and Lung Disease IUATLD）は本年4月3日、新型コロナウイルスの感染リスク低減に向け、喫煙者に禁煙を求めるとともに、タバコ会社に製品の製造と販売の停止を呼び掛けました。

The Union's statement on COVID-19 and Smoking（翻訳は末尾参照）

<https://www.theunion.org/news-centre/news/the-unions-statement-on-covid-19-and-smoking>

COVID-19 and smoking: A systematic review of the evidence

<https://www.tobaccoinduceddiseases.org/COVID-19-and-smoking-A-systematic-review-of-the-evidence,119324,0,2.html>

私たちはこれを強く支持いたします。

全世界で能動喫煙により年間 550 万人、受動喫煙により 60 万人が死亡していること、そして喫煙が乳児から高齢者まで、あらゆる疾病に深く関与することには、もはや疑いがありません。喫煙が我々に及ぼす損失はあまりにも大きく、タバコ問題は社会全体で考え、解決すべき問題となっています。

私たちは、今回の新型コロナウイルス感染のパンデミックにおいて、中国の研究チームが NEJM(New England Journal of Medicine 誌)で報告した喫煙によって新型コロナウイルス感染症における重症化リスクが 1.66 倍、レスピレーター装着、及び死亡リスクが 2.96 倍も高くなることを早期から訴えてまいりました。これは喫煙が粘膜の傷害を引き起こし抵抗力が低下すること、さらにニコチンが ACE-2 レセプターを活性化することによってコロナウイルスを取り込みやすくする酵素が誘導されるためと言われており、喫煙歴が肺炎の重要な増悪因子となることを欧州疾病予防管理センター（ECDC）も 3 月 25 日公表し、世界保健機関（WHO）も同様の見解を示しています。

さらに日本国内においても新型コロナウイルス感染者、死亡者が増加している現在、政府の緊急事態宣言の対象地域のみならず国内全てで重く受け止め、感染が終息するまではご自分自身の感染重症化リスクを下げるため、そして近親のかたへの感染防御のためにも禁煙することをお願いしたいと思います。

我が国の専門家会議は感染患者集団（クラスター）発生を高める環境として▽換気の悪い密閉空間▽密接した近距離での会話や発声がある状況▽手の届く距離に多くの人がいる密集状態の 3 条件を示しています。この 3 条件をすべて兼ね備えている喫煙所の閉鎖はすでに全国の多くの自治体、企業で進んでいます。喫煙所を介した新型コロナウイルス感染事例が福井県で報告されています。このようなクラスター発生を起こさないことが感染拡大を防ぐために大きな意味を持つだろうという考えに基づく日本の対策は、世界も注目しているところです。しかし喫煙がニコチン依存症という疾病に基づくものである以上、喫煙所閉鎖の効果はおそらく限定的で、新型コロナウイルス感染を増悪させる喫煙行為を防止する抜本的解決には至りません。

新型コロナウイルスに対する最善で最重要な策は、喫煙されるかたが禁煙すること、タバコ業界が直ちに新型タバコを含むタバコ製品の生産とマーケティング、販売を停止することと考えます。ロシア、南アフリカ全土とカナダ、インド、フィリッピンの一部の都市では、▽喫煙が新型コロナウイルス感染症に及ぼす害悪の深刻であること、▽タバコ製品が市民に必要な物資ではないことから、都市封鎖とともに、タバコ製品の製造や販売を禁止してい

ます。

現在の新型コロナウイルス感染症の状況は、もはや地球規模の大災害と言えるでしょう。この状況を克服するために、喫煙されるかたが直ちに禁煙するとともに、「タバコ会社、政府、関係各団体に対しタバコ製品の生産、販売停止を要望する活動」に、国民のみなさまのご理解・ご支援をいただきますよう心よりお願い申し上げます。

参考)

喫煙歴が COVID-19 肺炎の最大の重症化因子（日本禁煙学会ホームページ）

http://www.jstc.or.jp/modules/information/index.php?content_id=246

喫煙で、人工呼吸器装着 or 死亡のリスクが 3 倍となる（同）

http://www.jstc.or.jp/modules/information/index.php?content_id=245

連絡先：一般社団法人 日本禁煙学会 事務局

162-0063 東京都新宿区市谷薬王寺町 30-5-201

電話 03-5360-8233

COVID-19 と喫煙に関する声明

国際結核肺疾患連合

(略称 The Union)

2020 年 4 月 3 日

日本禁煙学会理事 松崎道幸・訳

国際結核肺疾患連合は、今回の COVID-19 パンデミックが世界の 13 億人の喫煙者とタバコ関連疾患によって大きな負担を強いられている低~中所得国の保健システムに甚大な被害をもたらすことを懸念している。

喫煙は非感染性疾患の主要原因である。さらにタバコ使用は現時点において極めて危険な行為である。世界保健機関は心臓病、糖尿病、慢性肺疾患、がんなどの非感染性疾患を持つ者ほど COVID-19 感染で重症化しやすいと述べている。

タバコ使用が COVID-19 感染を重症化させることが次々と報告されている。

<http://www.tobaccoinduceddiseases.org/COVID-19-and-smoking-A-systematic-review-of-the-evidence.119324.0.2.html>

喫煙は免疫システムを弱らせ、感染から体を守る働きを弱める。COVID-19 感染でも同じことが起きている。

2 月に NEJM に 1099 名の COVID-19 感染者の臨床経過を報告した。それによると重症の COVID-19 感染者 173 名中 16.9%が現在喫煙者、5.2%が過去喫煙者であり、人工呼吸・ICU 管理・死亡となった者の 25%が喫煙者であったという。

<https://www.nejm.org/doi/full/10.1056/NEJMoa2002032>

国際結核肺疾患連合代表のガン・クアン博士は「今が禁煙を実行するベストタイムである。市民に喫煙がコロナ重症化の主因であるという事実を告げ、大々的な禁煙推進活動を実行することは、すべての国々に課された道徳的要請である」と述べている。

国際結核肺疾患連合は、すべての国々が、181 か国が加盟している WHO タバコ規制枠組み条約に基づく、効果の証明された禁煙推進対策の実践を最優先課題とすべきであると考えている。

国際結核肺疾患連合は、タバコ産業がブログや SNS を通じて、喫煙が COVID-19 感染を重症化することはないという誤った情報を拡散していることに強い懸念を示すものである。ガン・クアン博士は、COVID-19 危機に付け込んで、政府に資金提供を行い、パートナーシップを深め、PR 活動を強めようと画策していると指摘した。タバコ産業は、それに加えて、毎年 800 万人の命を奪ううえ、COVID-19 危機をさらに悪化させているタバコ製品の売り込みを強力に行っている。

ガン・クアン博士は「COVID-19 感染が喫煙によって重症化するという証拠が次々に報告されている現在、タバコ産業が COVID-19 とたたかおうとするならば、今すぐタバコ製品の製造と販売および販売促進活動をやめるべきである」と述べている。

以上